

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第3012回 例会

2016年 3月 25日

- 1、点鐘・握手
- 2、ロータリーソング「我等の生業」
- 3、ゲスト並びにビジターの紹介（池上親睦活動委員長）
・ビジター 魚津西ロータリー会長エレクト 三浦 茂 様



4、誕生祝

・3月25日 宮本さん

今日は4回目のドンピタリ賞です。

30年のロータリーでドンピタリが多すぎて困っています。

今年は、前々回野沢君が志賀高原で滑って来られたということでしたが、私も赤倉のチャンピオン・コースをチャレンジしました。

まだまだ、大丈夫だな～と思いました。

今年は一番の趣味の登山を5～6回考えています。

もうすぐ私も70歳代を迎えますので、今後共よろしく願います。

・3月26日 坪井さん

お祝い いつもありがとうございます。

この時期になると実家の三重県の母が厄除けのお守りを送ってくれます。44歳の時はぞろ目の厄、45歳は続き番号の厄、今年の46歳は4+6=10の厄、来年は何というのか楽しみにしています。

剣道のポスターの件ですがお陰様で子供たちが沢山見に来てくれたそうです。ありがとうございました。出来れば4月いっぱい貼って頂ければ嬉しいです。よろしく願います。

桜前線魚津到着(3月31日)



5、会長挨拶(羽田会長)

・本日は宮本君、ドンピシャリ賞おめでとうございませう。60代最後で70代が待っています。



・魚津西RCの会長エレクトの三浦様ようこそお出で頂きました。卓話を楽しみに聞かせて頂きます。

・3月は小学校の卒業式があります。孫娘の卒業式のことですが先生が「卒業式にピアノを弾く人がいないですか？」と娘さんが「はい！」と手を挙げました。私と性格が違いますね～。みんなの前で堂々とピアノを弾いたと聞きました。ほっとしました。また、21日にはピアノ教室の発表会が富山市民プラザでありました。会場は20代、30代の若い子供連れで超満員でした。

・また、アートマーケットに行きました。そこにも若い人、子供たちがピッシリ超満員、びっくりです。若い人たちが活気あれば、市や町が活気が出てくると思います。

魚津市は高齢者の多い逆ピラミッドになっています。若い人がたくさん魚津に住んでもらうか小学校の統合による縮小は気になります。

・IMが黒部でありました。たくさん出席してもらいありがとうございました。

扇状地が体積でなく削られてできたということを初めてききました。
来年は魚津で開催になります。その準備が必要です。

6、幹事報告（川岸幹事）

- 地区2016-17年度 研修会については、中田さん、中尾さん、稲盛さん、野沢さん、愛宕さん、坪野さんの6名が参加予定。
- 4月例会予定は、
 - 4月1日 卓話 谷川さん
 - 4月8日 野外奉仕活動(桃山運動公園)
 - 4月15日 卓話 宮本さん
 - 4月22日 旬を楽しむ夜間例会(会場 いけがみ)
 - 4月29日 祭日につき休会です。
 - 4月SAAは 坪井さん、生駒さんです。
- ソウル世界大会参加について釜一RCは事業を縮小して全面的にソウル大会に参加する(30人ほど)するので、是非来て頂きたいという話が来ていますので、よろしくお願い致します。



7、出席報告(宮本出席委員)

- 本日の出席 21名、欠席 10名、出席率 72.4%。
3010回のメイクアップは、稲盛さん、中島さんで修正出席率は90.0%でした。



8、ニコボックス(坪野ニコニコボックス委員長)

- (1)羽田会長より、孫のピアノ発表会があり、楽しんでできました。
- (2)坪野さんより、今日3月25日は電気記念日です。
また、今日は私の結婚記念日です。家に帰って乾杯します。



9、委員会報告

- (1)野沢さん(国際奉仕委員長)より、3月20日黒部アクアホテルでIMがありました。魚津RCから9名の参加でした。
来年は魚津であります。皆様のご協力をお願いします。
釜一RCよりソウル国際大会に30名参加すると連絡がありました。
出来ればそこで交流したいと思います。現在3名ですが、なんとか出席してください。
- (2)ロータリー財団(平崎委員長)より、財団委員会に「つくし学園」に図書を寄贈したいということで、寄付金の三分の一程度五万円を申請してあります。中田年度の事業となります。



10、卓話 「私の中のロータリー」魚津西ロータリークラブ会長エレクト 三浦 茂 様 交換卓話にお招き頂きありがとうございました。

- 私は魚津で葬祭業を営んでいます。昭和34年生まれの56歳です。
入会は平成8年6月で20年近くロータリーに入っています。
私の父が魚津西ロータリークラブに入っていました。その父が昭和56年9月24日に亡くなり、



私は10月第I例会に西ロータリークラブに挨拶にいきました。
鐘がなって、国歌の斉唱がありました。もしかして恐ろしいところかな～と鮮明に記憶があります。当時21歳右も左も分からなく二人の弟は、短大生と中学生で、その学費をどう稼いで生活をしようかと思いついていました。

26歳で結婚しました。その後新川青年会議所に入会の誘いがありました。野沢さんに教えを受けました。

中正商店の野沢社長よりロータリー入会の誘いを何度も受けました。

「ロータリーは停年がないし、卒業も無いので、ちょっと待って下さい。」とお願いしました。

それから 10年、再度野沢さんから入会の誘いがあり、平成8年6月入りました。

以来 20年経ちました。

- 葬祭業は、365日 24時間 スタートが分からない、体のコントロールの難しい仕事です。30代後半よりコントロールが出来るようになりました。夜と昼との逆転生活です。

ロータリーは非日常的な職業の中で、日常の社会との大事な接点です。

「ありがとう」と感謝してもらう仕事です。

きちっとしたルールのある青年会議所やロータリーは私の支えです。

- 37歳に魚津西ロータリーにはいりました。

会費を払う余力を持つと、時間も作ろう、と一生懸命でした。20年続けました。

最近はロータリーのある火曜日が中心になっています。

「魚津西ロータリーに何か出来ることがない」「の会長にバトンタッチしよう」という目標を持ってやって行きたいと思っています。

- 57歳になります、後半の人生を考えさせていただくのがロータリークラブです。

父親の入っていた縁で入ったクラブの会長になろうとは想像出来ませんでした。

先輩の皆様のお陰です。仕事と趣味以外でこれよりないと思います。

魚津ロータリーの根岸さんは、声をかけて頂いた人です。

- 一年頑張って会長をし、人生を豊かにしたいと思っています。

皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

- 仕事から、葬儀について気を付けられたら良いと思う点を述べます。

まず、靴の底が取れてしまう場合があります。

次に、数珠はお守りの一種です。糸が切れる場合がありますが修理できます。

魚津の網元は代々、数珠を大切に持っておいでです。いいものを持つと気持ちが変わってきます。

靴と数珠を大切にされては どうですか。

(質問)

(寺崎さん)数珠の玉の数は煩惱の数ですか？

(三浦会長エレクト)略式ですので、いろんな物があります。高いものもいいですよ。

終わります。

[あとがき]

- 桜前線が魚津に到着しました。(3月31日)

「さくら」の美しさは世界中に知られています。特にニューヨークやワシントンDCの桜は一時は交戦もしましたが、今日では日米親善の重要な役割を担っています。

その桜について高岡市出身の世界の、また日本の十大発明家と言われる高峰讓吉先生は「アメリカに桜を咲かせた男」として、永く語られています。

- 日が経つのが大変早く感じられるこの頃ですが、皆さんは如何でしょうか。

桜をうたった歌は、たくさんあります、

「三日 見ぬ間の 桜かな 」

「三日 見ぬ間に 桜かな 」(松原 泰道老師)は有名ですが、

「 山桜 あれは雲だと 多数決 」という歌(?)もあります。

・ポールハリス語録ーその19 (2012年10月14日配信)

「ロータリーの水準と理想を高く掲げ続けることの重要性は、いくら強調しても強調しすぎることはありません。ロータリーの倫理の大空に希望の星が高らかに輝かなければなりません。希望の星が高すぎるということは、まずあり得ないでしょう。どこからでも目指して努力できるくらいの高さであることを 私は願っています。(ロータリアン誌、1912年9月号)

あとがき(寺田)

大学を卒業して戻ってきた長男との二人暮らしが始まりました。家族がいるっていいですね。今までの独り暮らしとは打って変って、自分でもびっくりするくらいのべつ幕なしにしゃべっています。お願い事をするのも小言を言うのも皿洗いすらも楽しいのです。7年間も親元を離れて暮らしていたので、息子の世話をするのが楽しくてしょうがないのでしょうね。生活にハリと潤いができます。家族愛、親子愛って、不思議な温かいエネルギーが湧いてきますね。もし、私に幸せオーラがでてたら、声をかけてくださいね。